

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		身体に障害のある人は受け入れていないため、これまでのところ支障はない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		毎日の業務の前後にスタッフ間で利用者に関する情報交換をすることで、情報共有を図っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		評価表の配布・回収を経て得られた情報や、普段連絡を取り合う際に情報交換の機会の確保をするなかで得た情報を日々の活動内容へ反映している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		当事業所では発達支援と家族支援を中心として取り組んでいることから、地域支援についてはサービスの提供が行き届いているというわけではない。できていない。ただ、将来的に利用者が地域参加ができるような状態にすることを目指した取り組みを取り入れることもある。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		取り入れているメソッドの考え方に沿った形でプログラムの大まかな方向性が固定化してしまうものの、状態の良し悪し等に応じて役割や難易、負荷を調整しながら取り組んでいる。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		メソッドにおいて集団活動が最も大事だとされているため、基本的には集団活動を前提とした計画作成となるが、個々人の状況に応じて適宜個別の活動に切り替える対応を採っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	

	<p>⑳ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</p> <p>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか</p>	—	—	
	<p>㉑ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか</p>		○	保護者を通じ、当事業所以外での様子を共有させてもらいつつ、利用者への対応や計画の内容といった取り組みの方向性を決めている。
	<p>㉒ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか</p>	○		
	<p>㉓ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</p>	○		直接会っての方法は難しいが、電話等で定期的に機会を設けている。
	<p>㉔ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか</p>		○	
	<p>㉕ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか</p>		○	
	<p>㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか</p>	○		
	<p>㉗ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか</p>	○		資料の配布や電話・メールでの支援に努め、特に新規で入られた利用者の保護者については可能な限り見学対応なども行っている。
保護者への説明責任等	<p>㉘ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか</p>	○		
	<p>㉙ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか</p>	○		
	<p>㉚ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p>	○		保護者から相談をいただいた場合にはメソッドに基づいた場合の対応を説明させていただくなどを交えながら、普段の活動で気付いた点をこちらから投げかけることもある。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	毎月の予定表配布の際に予定表への説明の記載と併せ口頭でも説明し案内を行っている。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	できる限りの対応を行っているものの、必ずしも十分ではないところもある。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	職員間では周知されているが、保護者への周知の徹底をこれからも図っていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	こちらが直接医師とやり取りをすることはないが、保護者を通じて医師の指示を受け、それに基づいた措置が採れるよう対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	該当する利用者がいないため、これまでのところ特別の対応は行っていない。